

Title	編集後記 奥付
Sub Title	
Author	青沼, 吉松
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1953
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.46, No.1 (1953. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19530101-0073

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

は現状分析者にとどまるであらう。しかしこのことは社會學者であるムーアの限界を超えるものであるかもしれない。何故なら問題は、平等とか自由とか、そしてデモクラシーが西歐諸國に於ける意味と同じようにソヴェト社會の原理として、ソヴェト政策の原理として考えてよいのかという問題になるからである。(昭廿七・九記)

編集後記

三〇世紀の後半における三回目の新年を迎えるが、社會はなお不安定の状態から脱け出していない。産業の重要部門で起つていてストライキを身近かに経験している。産業において鋭い対立があるという事、更にそれが實力行使を不可避的ならしめていているという事實に注目しなくてはならない。ストライキはそれ自體としては對立する兩者にとつても、一般大衆にとつてもものぞましいものではない。それにも拘らずそれが生ずるのは何故か—これが問題である。問題はこれのみではない。國際的對立は不気味な暗雲をなげかけている。人間は自ら作つた成果に息の根をとめられる危険がある。戦争とそれを準備するために巨大な富が費やされている。國際的對立は實力に訴えることなくしては解決しえないのだろうか。最近幾世組かの中に生産技術は大いに發展した。しかしかくて作り出される物資的手段を以て人間の幸福は實現されてきたのだろうか。現存の社會機構は高度化した技術の水準に應じうるのだろうか。問題は地震や津浪のような自然現象の次元に展開されているのではない。それが社會的である以上、社會科學の發言の餘地は大いにあり、又そこでその實用性が示されなくてはなるまい。社會科學がそれに對決するように迫まられている問題が根本的である限り、それはそれに浸透する論理を以て體系を構成すべきであらう。

(青沼吉松)

昭和二十七年十二月二十五日印刷 昭和二十八年一月一日發行	第四十六卷 第一號	定價 七拾圓 送料 四圓
東京都港區芝三田豐岡町八 發行所 高村象平	東京都港區芝三田豐岡町八 印刷所 圖書印刷株式會社 川口芳太郎	豫約購讀料 一年分 金八四〇圓(送料共) 半ケ年分 金四二〇圓(・)
發行所 東京都港區芝三田三丁目 慶應義塾大學經濟學部研究室内 慶應義塾經濟學會		